こでらんに de ふくしま通

3 福島の長い一日

幕末・東北戦乱の始まり

❶福島稲荷神社

福島では初詣といえばこちら。多くの参拝客で賑わいます。ここを訪れたらぜひ手に入れてほしいのが、競馬場がある街らしく「競馬勝守り」と福島名産の桃にちなんだ魔除けの「桃守り」。どちらも全国的に大変珍しいものです。

桃守りと競馬勝守り

❷世良修蔵霊神碑

幕末の福島で忘れてはいけないのが、東北における戊辰戦争が始まるきっかけとなった世良修蔵の存在。その霊神碑がこちら。世良は幕末の長州藩士で、新政府軍参謀として会津藩討伐を強硬に主張していました。一方、仙台藩は会津への穏便な措置を望んで嘆願していたにも関わらず、それを世良から反故にされ、怒りを買っていたのです。そして慶応4年(1868年)閏4月、ついに世良は仙台藩士により、この北裡で暗殺されます。

世良修蔵

世良修蔵霊神碑

❻長楽寺

上杉氏の重臣・本庄氏の菩提寺です。

境内には「浅草宇一郎夫妻の墓」や仙台藩士により組織された衝撃隊「仙台藩烏天狗組之碑」、日本のナイチンゲールと称された女性初の藍綬勲章受章者「瓜生岩子の像」などがあります。また、幕末には奥羽越列藩同盟の軍事局が設置され、明治期には一時裁判所として利用されたこともあったそうです。

長楽寺山門

❼出世稲荷（ねこ稲荷）

長楽寺の西側にあたり、福島城の北東の鬼門の守り神として祀られた神社の祠、通称・出世稲荷（ねこ稲荷）が残っています。

江戸時代から明治にかけて信達（信夫・伊達両郡）地方の養蚕は大変盛んで、豊田町の東の若葉通から阿武隈川の川岸にかけ多くの桑畑が広がっていました。その桑の葉を食べて育つ蚕は鼠の大好物でした。鼠から蚕を守る猫は大変大切にされ、ねこ稲荷として祀られています。

出世稲荷

❽世良修蔵処刑地

客自軒から連れてこられた世良は、この地で斬首されました。胴体は河原に埋められましたが、大雨による洪水で流されたといわれています。首は白石に送られ首実験ののち葬られました。世良が斬られた同日、家来の二人も殺され胴体は長楽寺の裏に埋められたと伝えられています。

世良修蔵が処刑されたと伝わる河原

❾日赤赤レンガ倉庫

大正5年に日赤福島県支部の倉庫として建てられた赤レンガ倉庫は、戦時中に日赤福島病院として使われました。昭和37年に病院は移転しますが、この赤レンガ倉庫は現在も残っており福島県の所有財産となっています。

❸最上位稲荷

縁結びと若返りといえば女性が気になる2大テーマ！その2つにご利益があると評判の稲荷がこちら。花街だったこともあり、界隈で働いていた芸妓や遊女が足しげく通ったようです。もともとは、昭和3年に岡山県から分霊されたもので、北裡花柳界の発展と地区住民の守り神として祀られてきました。今ではご利益のあるお札も作られています。

最上位稲荷

❹客自軒跡（かくじけん）

世良修蔵が襲撃された後に引き立てられた旅館。町屋造りと略式化された数寄屋造りが特徴で、明治中期に入って所有者が代わり福島の自由民権運動の中心人物だった河野広中が庭にあった紅葉の大木にちなみ「紅葉館」と名付けました。昭和まで下宿屋として使用されていましたが、老朽化が進んだため、昭和61年に解体された後、平成4年に福島市民家園に移設・復元され「福島市指定有形文化財」に指定されています。

★改築前の紅葉館

❺金沢屋跡

世良修蔵が捕縛された場所。昭和20年戦争中の建物疎開により、家屋は全て解体されてしまい、現在はその面影はまったくありません。福島市史の地図などで見比べてみると、幕末の頃の金沢屋は、現在の日産自動車より、やや東側。付近は、旅籠が17軒も密集する賑やかな地域だったようです。

金沢屋があった付近の現在の風景

❿明治病院

もと旅籠「浅草屋」をそっくり買い受けて、明治時代に産科・婦人科の病院を開業したので「明治病院」と名付けられました。しばらくは建物もそのまま使っていたのだそう。初代院長の夫人は「智恵子抄」で有名になった「高村智恵子」の先輩で、親しく交遊があったのだそう。この病院は、今でも福島の産婦人科の中でも出生児も多く、最も大きい病院のひとつです。

★改築前の明治病院